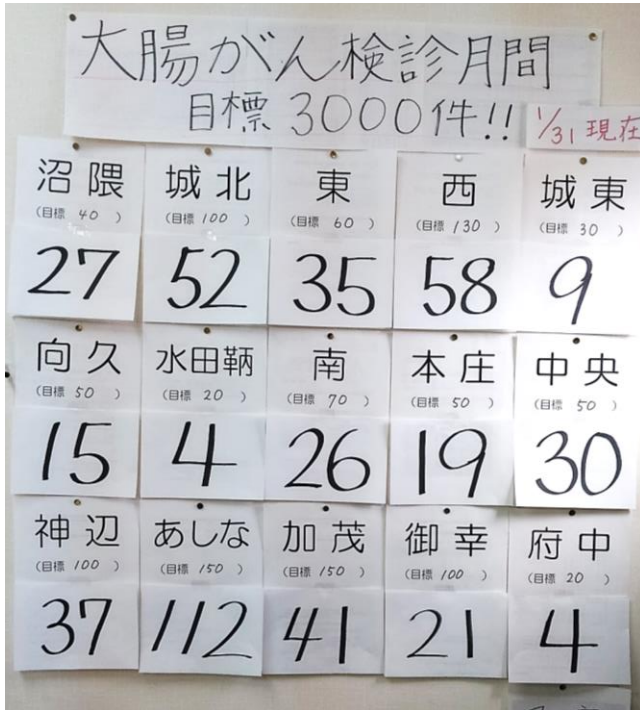


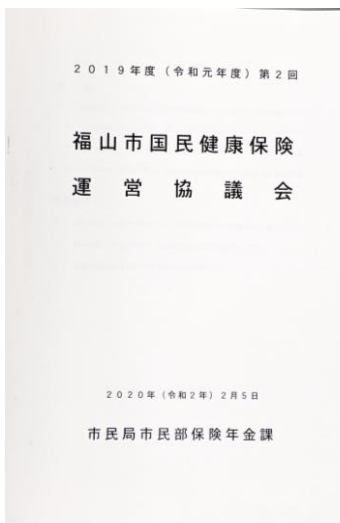
大腸がん健診月間・1件のキットが命を救う（1月末実績） 福山市社保協、国保請願で各会派に要請！



生協3課題実績（2月12日現在）

支部	仲間増やし		出資金（万）		大腸がん健診	
	目標	実績	目標	実績	目標	実績
沼隈	10	5	10	12	40	27
城北	10	9	50	49	100	52
東	10	5	50	11	60	35
西	10	5	40	43	130	58
城東	10	2	20	123	50	9
向陽久松台	10	6	30	31	50	15
水呑鞆田尻	10	0	10	0	20	4
南	20	7	30	8	70	26
本庄	10	4	20	22	50	19
中央	10	3	30	224	50	30
神辺	30	17	60	68	100	37
あしな	30	25	80	80	150	112
加茂	10	2	30	18	150	41
御幸	10	4	10	10	100	21
府中	5	0	30	4	20	4
合計	195	95	500	703	1140	490

国保請願署名を2月13日に、議長に提出します。



2月5日（水）福山市本庁会議室にて、2019年度第2回国保運営協議会開催。

福山市社保協（事務局:福山医療生協）が、2月10日福山市議会各会派に議会請願の紹介議員の要請を市議会応接室で行いました。対応のあった会派には、国保運営協議会（写真左）では、医療分の値上げはあるが、後期高齢者・介護保険への支援分が減ることにより、若干の値下げの答申があったこと、子どもの均等割りの全額免除に必要な予算は1億8千万円であり、黒字分1億円、基金積立金1億5千万円を使えばできること。子ども7人に1人が貧困状態にある現状を踏まえ、対象を法定減免世帯の二人目の子どもから一人目に広げること、2割減免を5割減免に引き上げること、子ども均等割りの減免制度は全国的にも評価されており、一歩でも二歩でも進めてほしい。と要請しました。河村晃子議員（日本共産党）に請願主旨を持って各会派をまわって頂きました。誠友会の稲葉誠一郎会長は、気持ちはよくわかるが紹介議員になれないとの回答。初めて、市民連合の法木昭一会長が来て下さり、主旨は分かったので持ち帰って検討するとの回答。また初めて、新政クラブの八杉光乗会長が来て下さり、検討するとの回答でしたが、市民連合、新政クラブとも、「難しい」との回答があった。水曜会、公明党は対応無し、無所属議員は欠席。後程、岡崎正淳議員は「主旨はわかるが紹介議員にはなれない」と回答があった。